

溶射を中心とした各種表面改質の総合メーカー

2020年3月期決算 補足説明資料

2020年5月14日

- 1．会社概要**
- 2．2020年3月期 連結決算の概要**
- 3．今後の見通し**
- 4．持続的成長の実現に向けて**

1. 会社概要

■ トーカロ株式会社

事業内容：溶射を中心とした表面改質加工

本 社：兵庫県神戸市

設 立：1951年7月

資本金：26億5,882万3千円

売上高：連結 378億96百万円（2020年3月期）

従業員数：連結 1,060名（2020年3月末現在）



当社の主な事業所

TOCALO



本社・神戸工場・明石工場・
溶射技術開発研究所

宮城技術
サービスセンター

水島工場

東京工場

北九州工場

名古屋工場



グループ会社



会社名	設立年月	本社	出資比率	主な事業分野
連結子会社				
日本コーティングセンター株式会社	1985年 4月	神奈川県	100%	PVD処理加工
東華隆(広州)表面改質技術有限公司	2005年 4月	中国 広東省	70%	溶射(鉄鋼他)
東賀隆(昆山)電子有限公司	2011年 5月	中国 江蘇省	90%	溶射(半導体・FPD)
漢泰国際電子股份有限公司	2011年 6月	台湾 台南市	50%	溶射(半導体・FPD)
TOCALO USA, Inc.	2015年11月	米国 CA州	100%	溶射(半導体他)
その他(非連結、持分法非適用)		インドネシア1社、タイ1社		溶射(鉄鋼他)



さまざまな産業界に広がる事業領域

TOCALO

その他分野



その他表面処理加工
(TD/ZAC/PTA)

6%

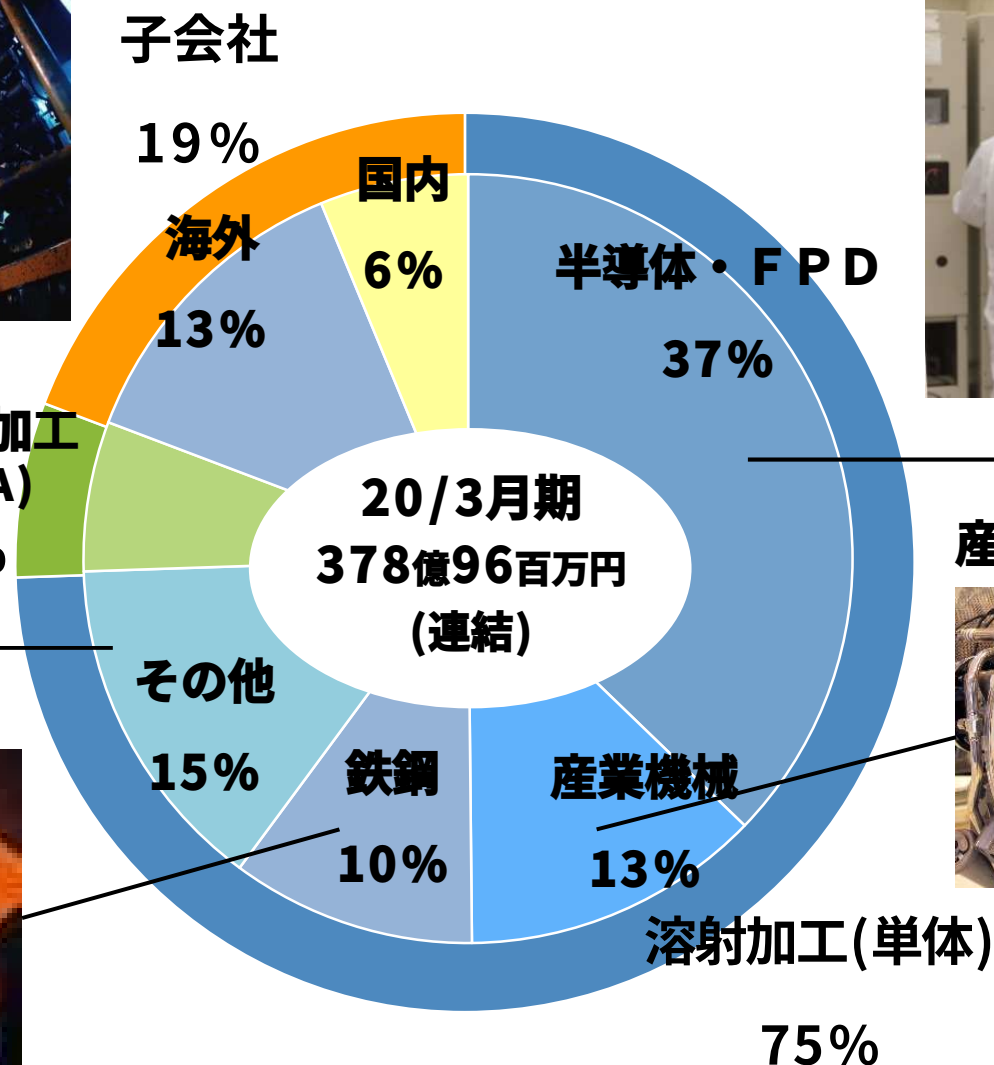
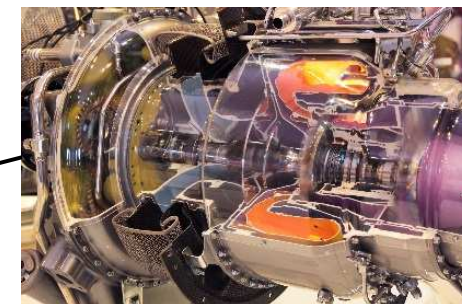
鉄鋼分野



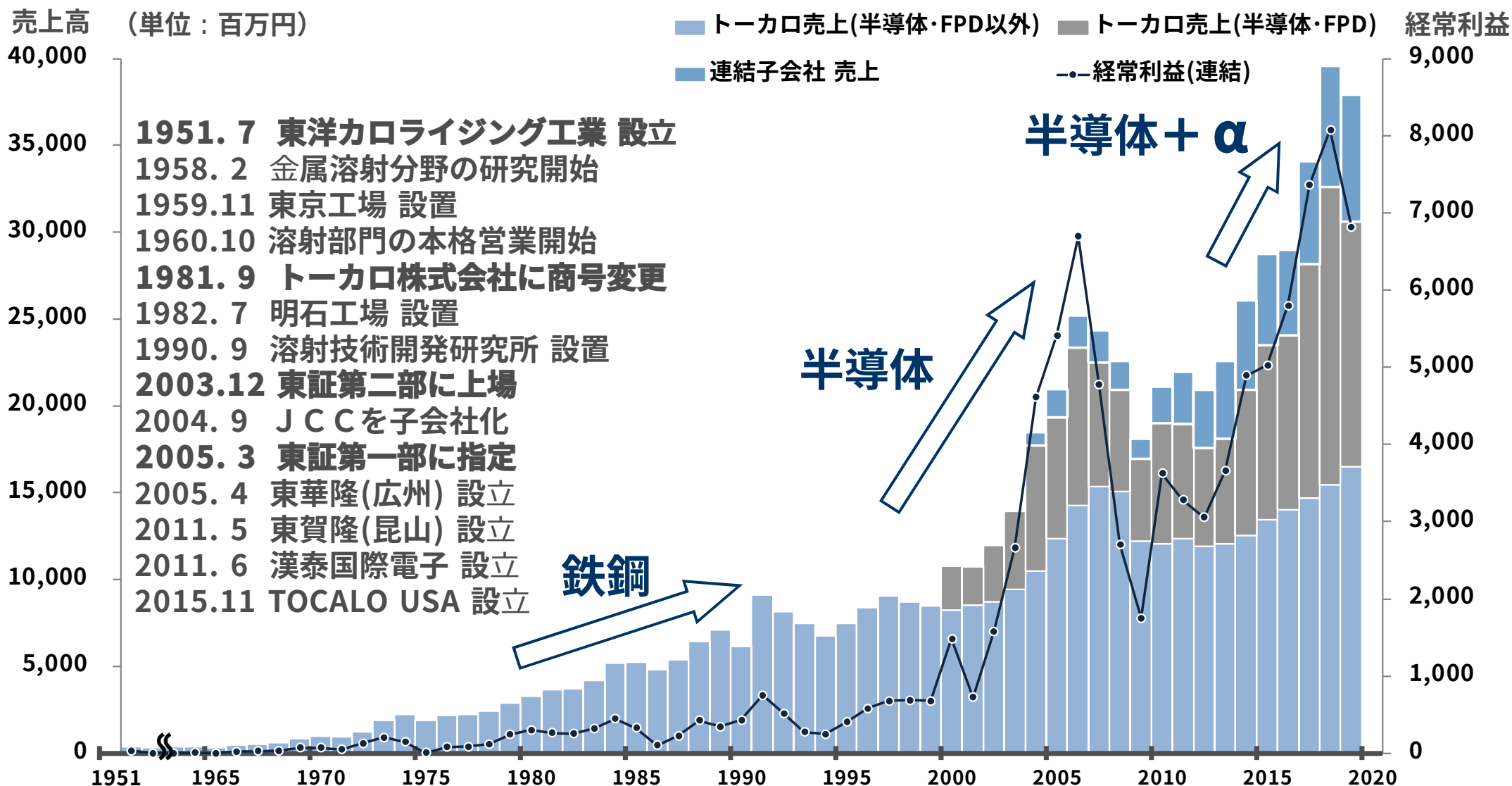
半導体・FPD（フラットパネルディスプレイ）分野



産業機械分野



沿革・業績の推移（1951年度～）



(注1) 1990年度は決算期変更のため9ヶ月決算

(注2) 2005年度から連結決算

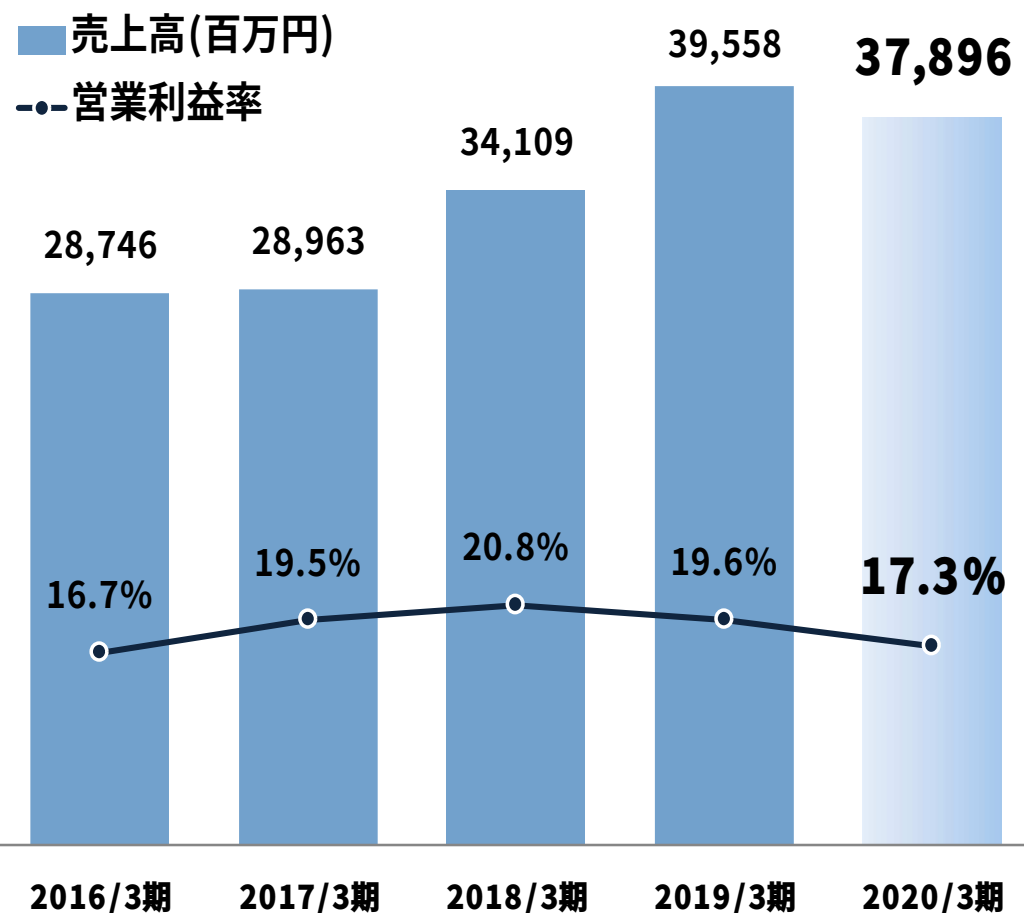
(注3) 2020年度予想は新型コロナウイルス感染症拡大による影響を踏まえ、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 2020年3月期 連結決算の概要

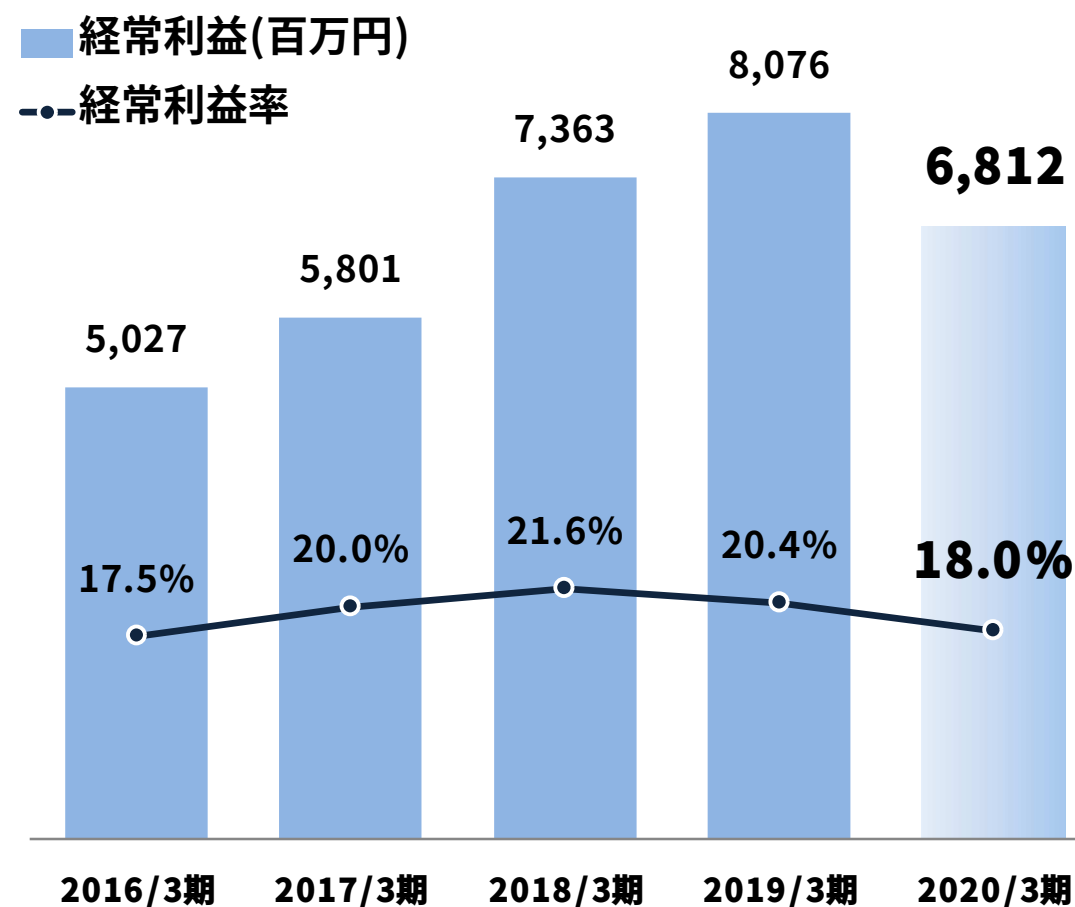
2020年3月期 連結決算 実績概要



売上高と営業利益率



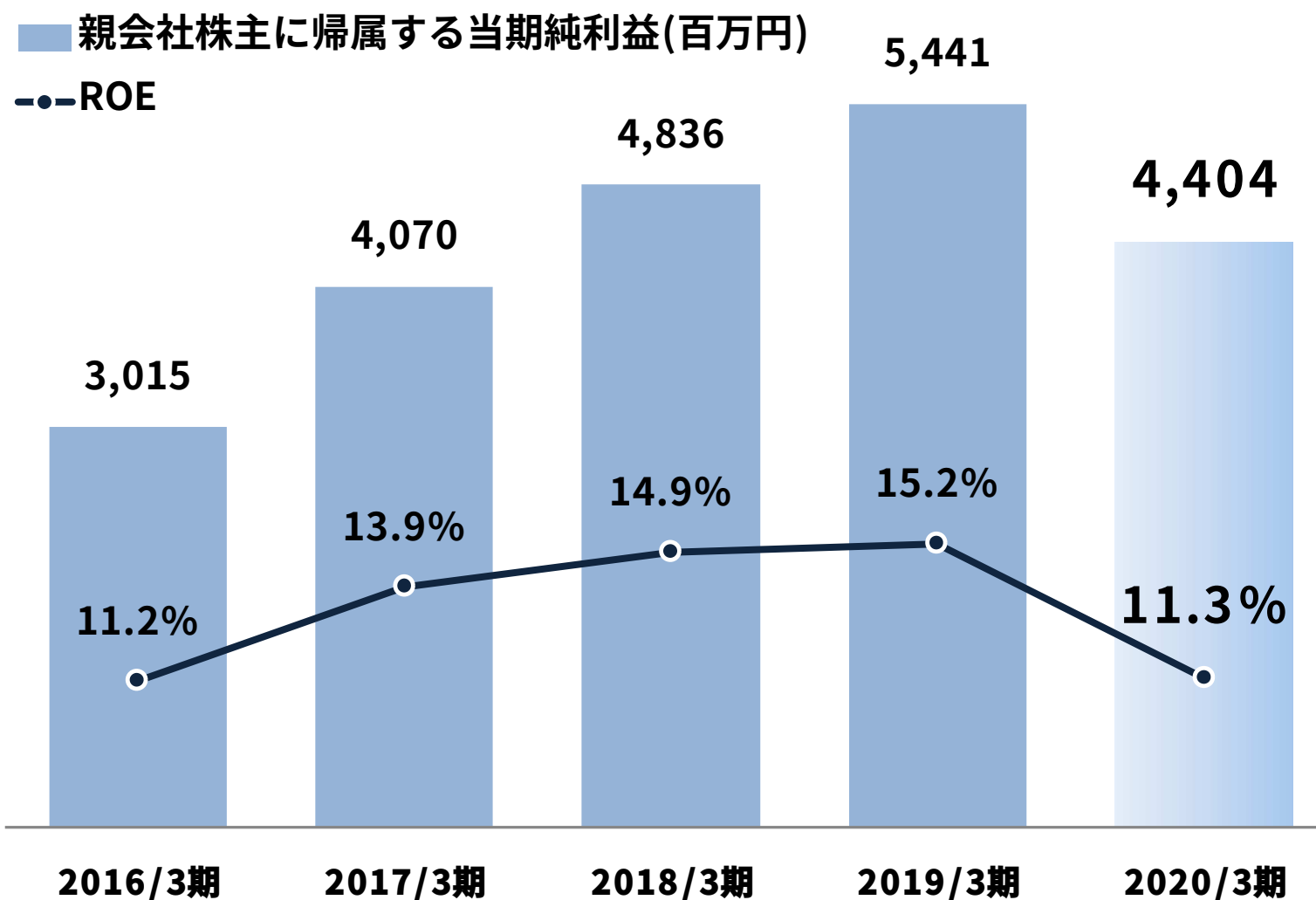
経常利益と経常利益率



2020年3月期 連結決算 実績概要



親会社株主に帰属する当期純利益とROE



2020年3月期 連結決算 実績概要

ハイライト



(1) 売上・利益ともに期初予想を上回る

半導体・FPD分野の減収は想定どおり

産業機械、鉄鋼、その他分野が好調に推移

(特にエネルギー・石油化学・紙関連)



(2) 国内子会社は減収減益、海外子会社は増収減益

台湾子会社はFPD分野の受注が低調で減収減益

中国子会社は増収基調で好調

(特に鉄鋼及び石油・ガス分野が好調を維持)

2020年3月期 連結決算 実績概要

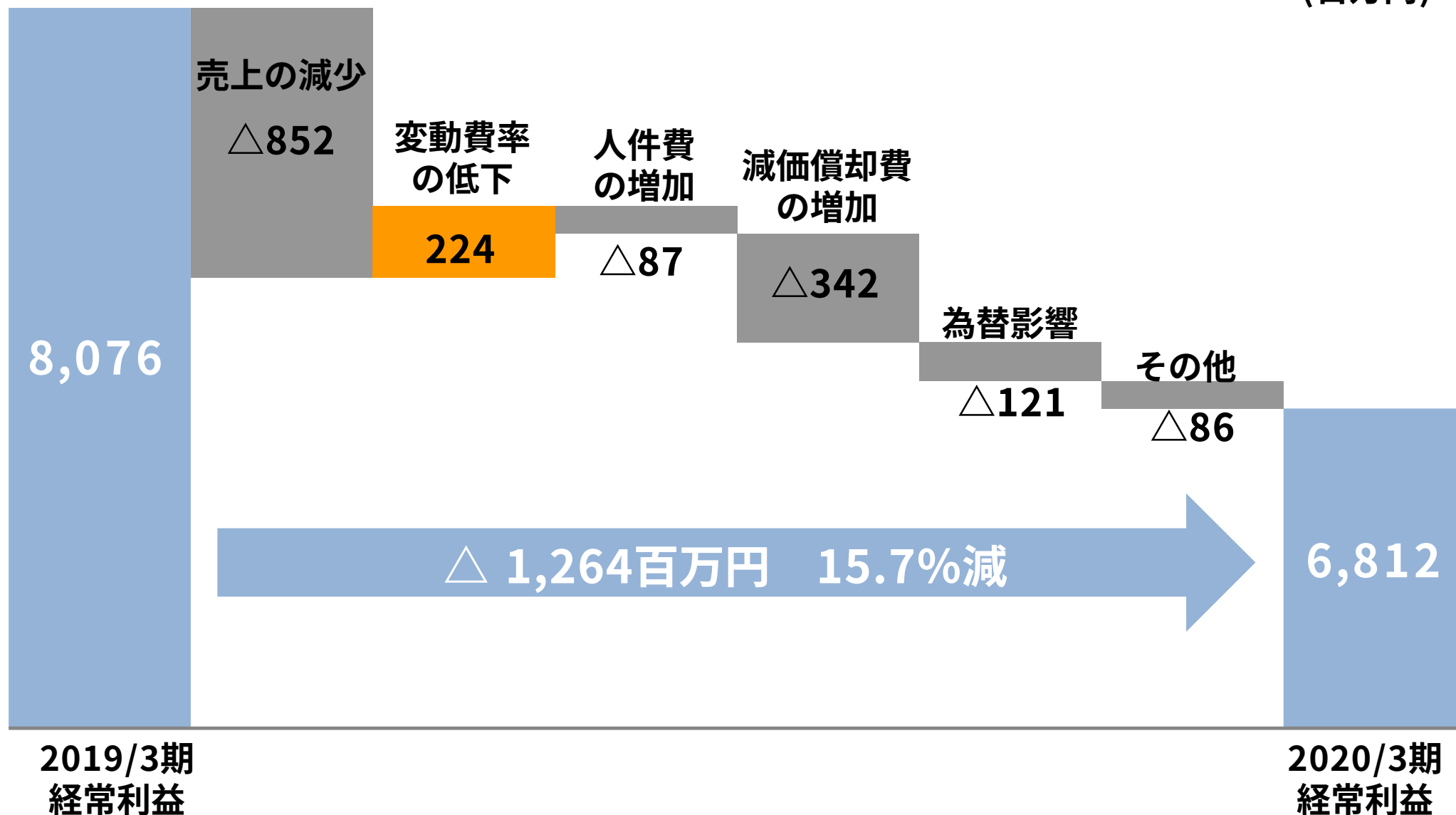


(百万円)	2019/3期		2020/3期		前年同期比増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	率
売上高	39,558	100.0%	37,896	100.0%	△ 1,662	-4.2%
溶射加工(単体)	30,400	76.8%	28,221	74.5%	△ 2,178	-7.2%
半導体・F P D	17,134	43.3%	14,102	37.2%	△ 3,032	-17.7%
産業機械	4,154	10.5%	4,782	12.6%	628	15.1%
鉄鋼	3,662	9.3%	3,899	10.3%	237	6.5%
その他	5,449	13.7%	5,437	14.4%	△ 12	-0.2%
その他表面処理加工	2,204	5.6%	2,384	6.3%	179	8.1%
国内子会社	2,493	6.3%	2,364	6.2%	△ 128	-5.2%
海外子会社	4,460	11.3%	4,925	13.0%	465	10.4%
営業利益	7,741	19.6%	6,550	17.3%	△ 1,191	-15.4%
経常利益	8,076	20.4%	6,812	18.0%	△ 1,264	-15.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,441	13.8%	4,404	11.6%	△ 1,036	-19.1%

前年同期比 経常利益 増減要因分析

TOCALO

(百万円)



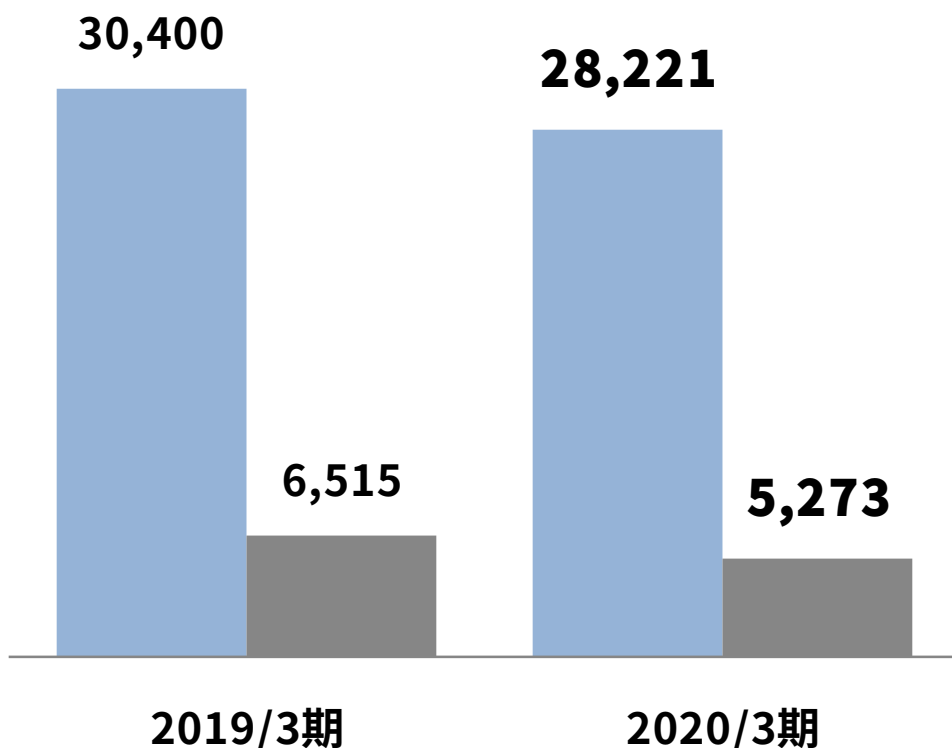
セグメント情報（前年同期比）

TOCALO

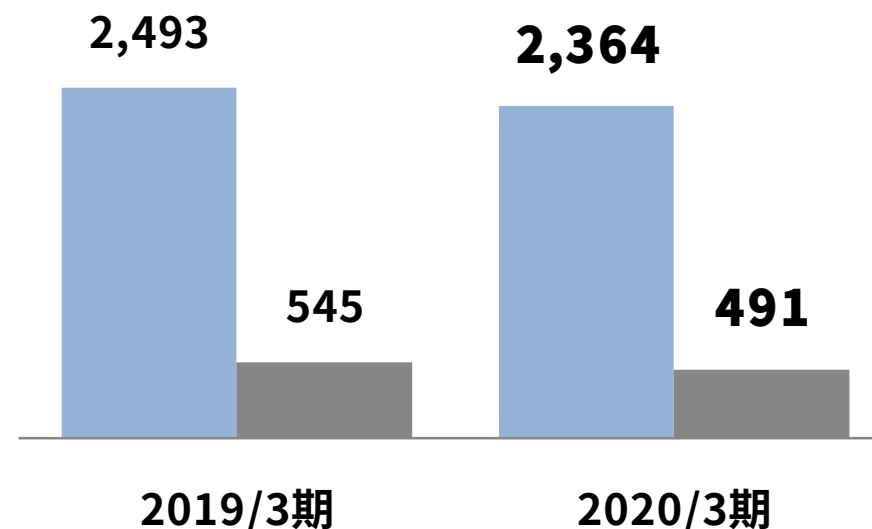
溶射加工(単体)

国内子会社

- 売上高(百万円)
- セグメント利益(百万円)



産業機械分野(「Iレギ」-関連)・鉄鋼は健闘するも
半導体・FPD分野の受注が落ち込み、減収減益



米中貿易摩擦を背景に自動車部品加工用切削
工具へのPVD処理が低調で、減収減益

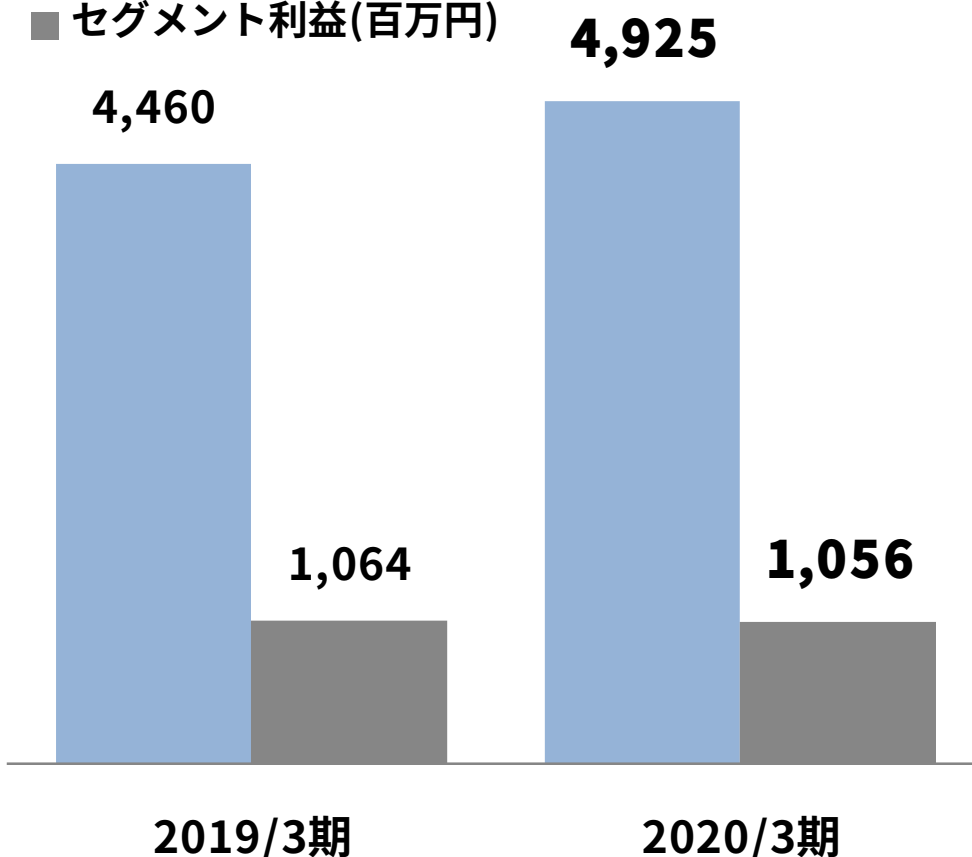
セグメント情報（前年同期比）

TOCALO

海外子会社

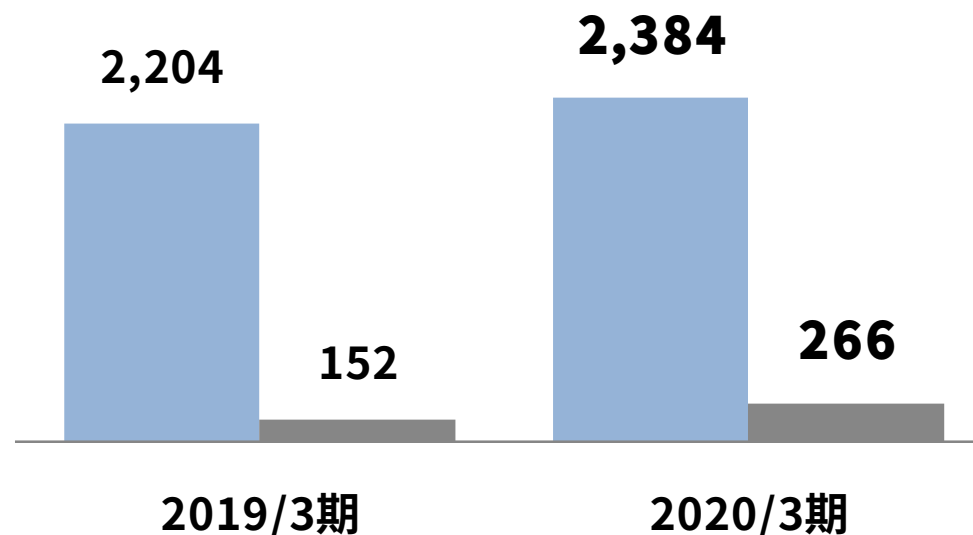
■ 売上高(百万円)

■ セグメント利益(百万円)



台湾（半導体・FPD）は減収減益、中国（鉄鋼及び石油・ガス）が好調で、全体としては増収減益

その他表面処理加工



農業機械部品向け加工等が堅調に推移したことにより、増収増益

セグメント情報（前年同期比）



(百万円)	2019/3期		2020/3期		前年同期比増減			
					売上高		セグメント利益	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	金額	率	金額	率
溶射加工(単体)	30,400	6,515	28,221	5,273	△ 2,178	-7.2%	△ 1,242	-19.1%
国内子会社	2,493	545	2,364	491	△ 128	-5.2%	△ 54	-10.0%
海外子会社	4,460	1,064	4,925	1,056	465	10.4%	△ 7	-0.7%
その他表面処理加工	2,204	152	2,384	266	179	8.1%	113	74.5%
合計	39,558	8,278	37,896	7,087	△ 1,662	-4.2%	△ 1,190	-14.4%

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

財政状態

(百万円)	2019/3期 4 Q末	2020/3期 4 Q末
総資産	57,278	61,122
自己資本	37,559	40,263
自己資本比率	65.6%	65.9%
有利子負債残高	4,478	8,145

- ・ 手元流動性確保のため、期末に30億円の長期借入を実施
⇒ 総資産は前期末比 38億43百万円の増加（流動資産の増加 40億87百万円）
有利子負債は前期末比 36億67百万円の増加
- ・ 自己資本比率は前期末比 0.3ポイント上昇の65.9%

キャッシュ・フローの状況

(百万円)	2019/3期	2020/3期
営業キャッシュ・フロー	8,044	6,621
投資キャッシュ・フロー	△ 4,617	△ 4,217
財務キャッシュ・フロー	40	1,871
現金及び現金同等物の期末残高	12,213	16,496

- ・フリーキャッシュ・フロー（営業CF＋投資CF）はプラスで推移
- ・投資CF／有形固定資産の取得 前期：△69億円 当期：△36億円
有価証券の償還収入（純額） 前期：＋20億円 当期：なし
- ・財務CF／長期借入による収入 前期：＋29億円 当期：＋51億円

主な設備投資について

2020年3月期 実績

設備投資額 23億13百万円 (※期初予定額 36億円)

トーカロ 17億14百万円

半導体分野の受注環境を踏まえ、投資計画の一部を延期・縮小
増産対応に向けた新規設備の導入は継続（明石播磨工場など）

次世代コーティング開発設備への投資

国内子会社

生産能力増強 1億38百万円

海外子会社

半導体・FPD分野を中心に 4億60百万円



明石播磨工場

(参考) 半導体・F P D分野の売上推移

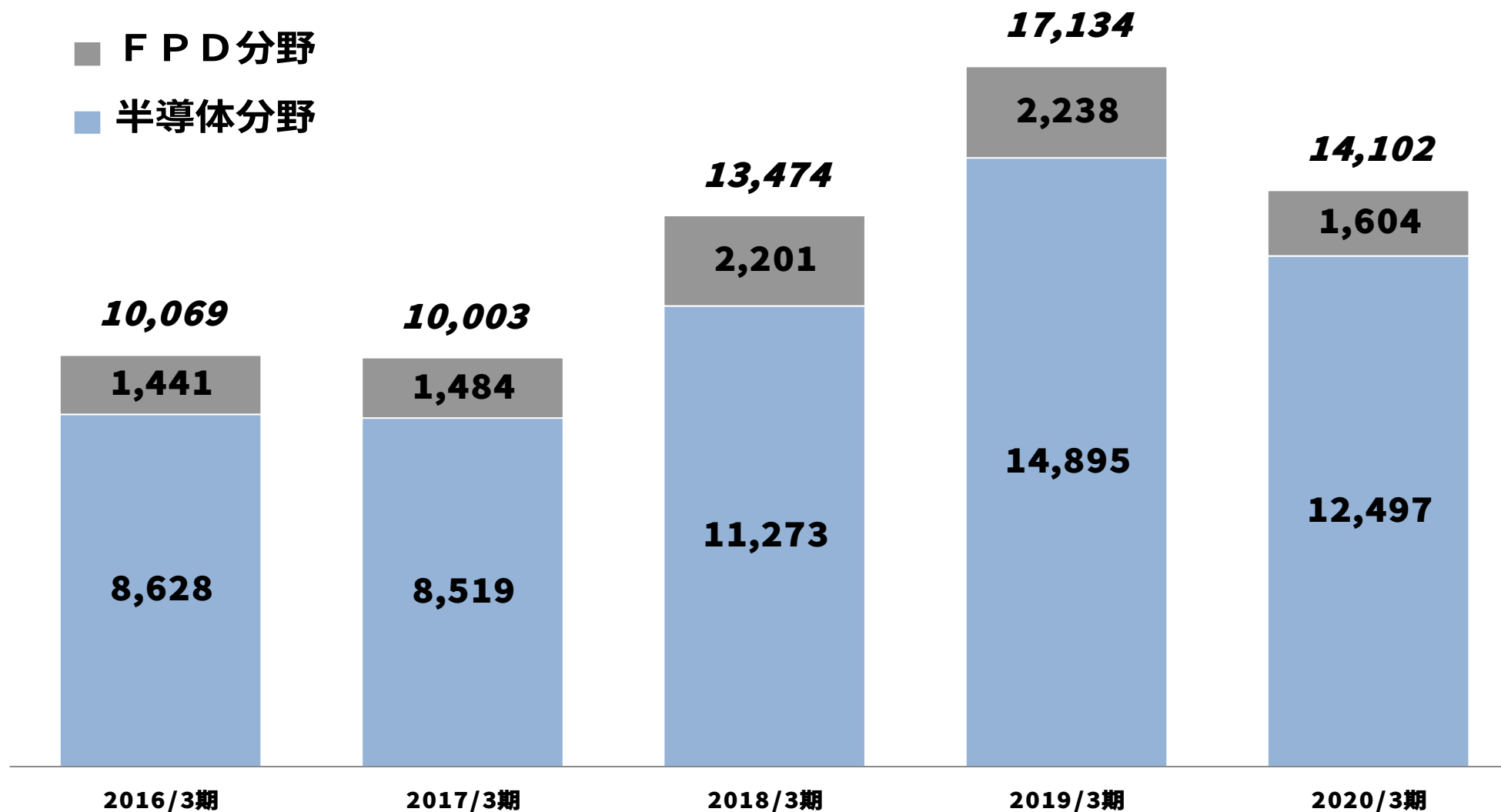


溶射加工(単体)

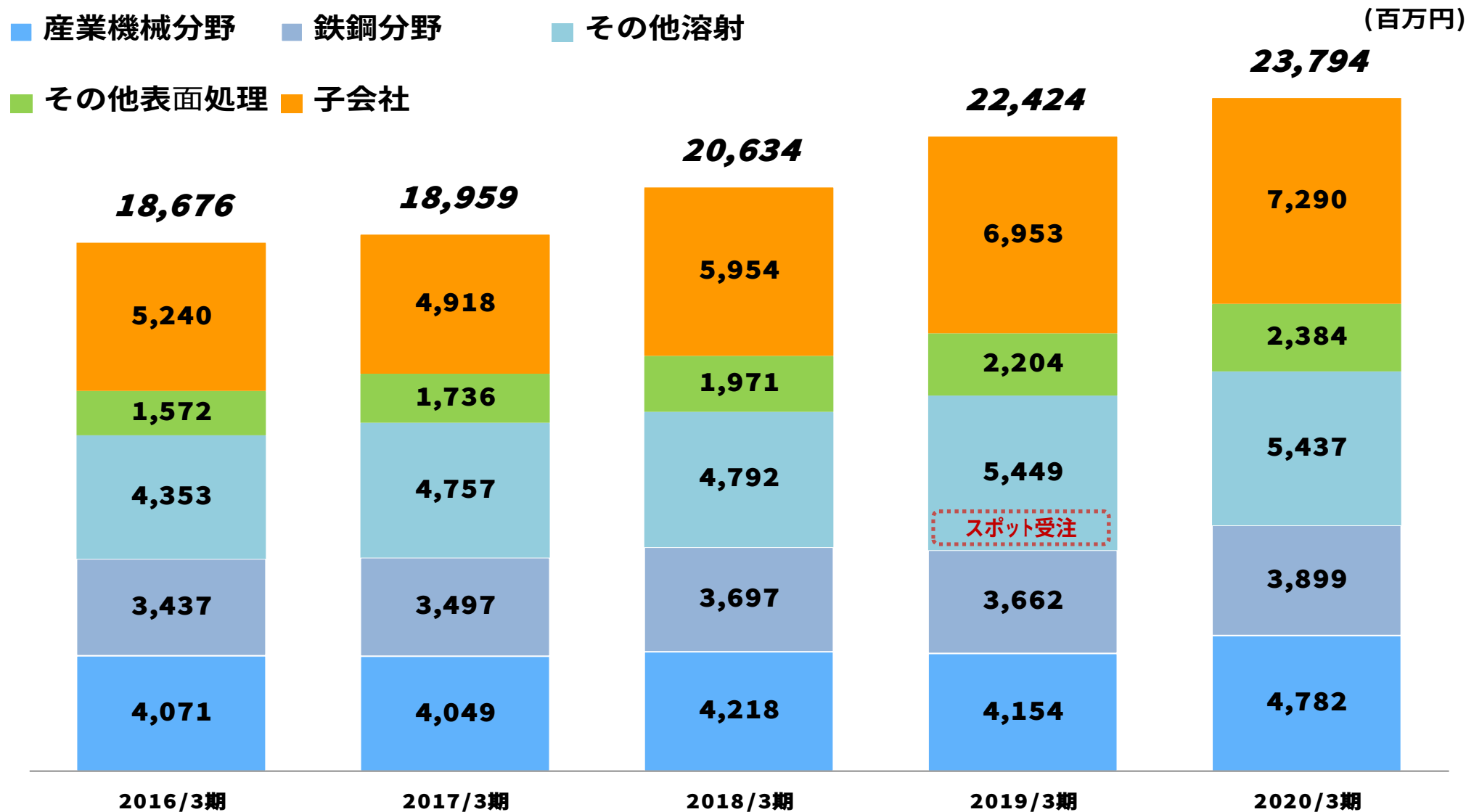
(百万円)

■ F P D分野

■ 半導体分野



(参考) 半導体・F P D分野以外の売上推移

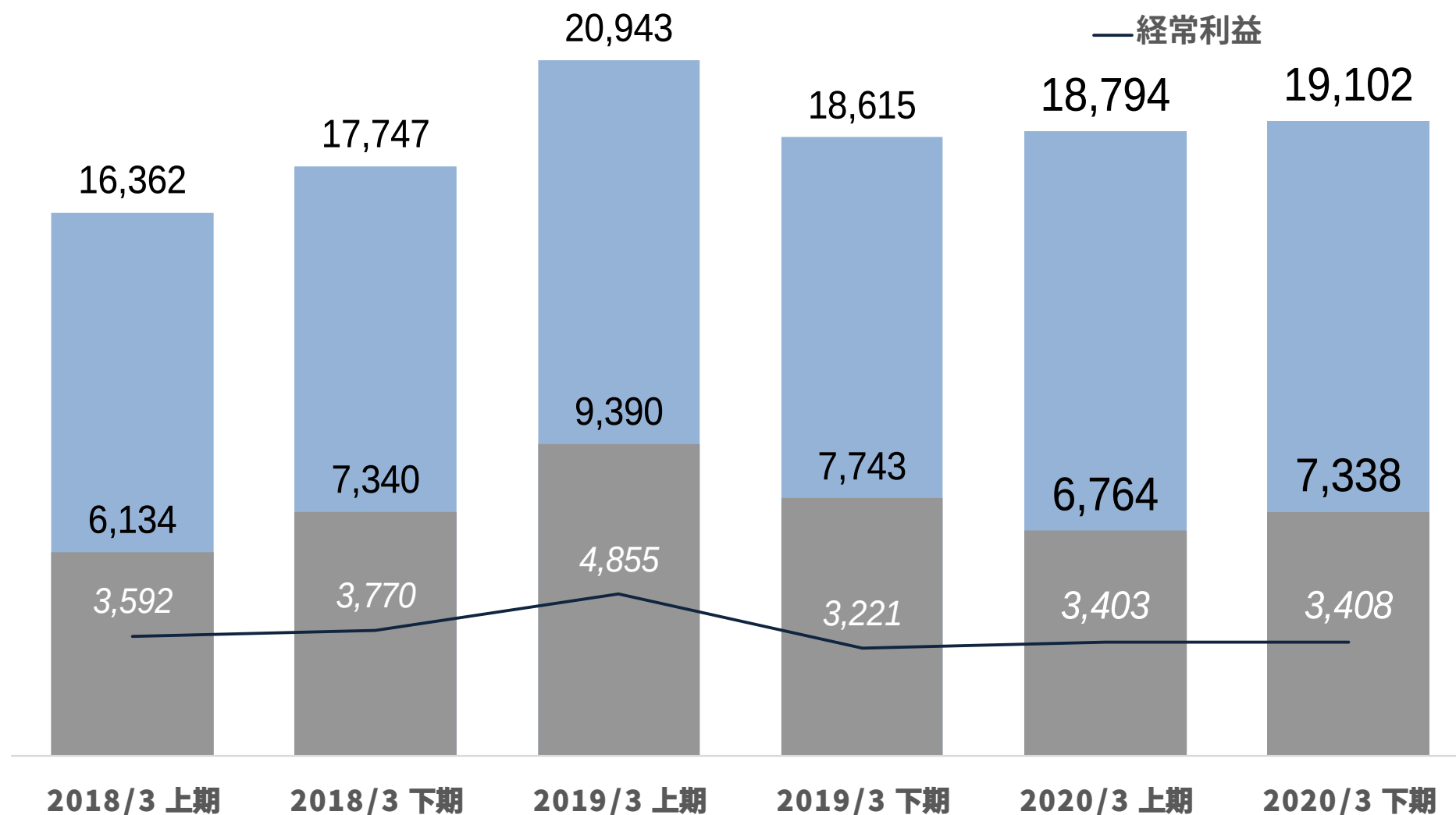


(参考) 売上高・経常利益の半期毎の推移



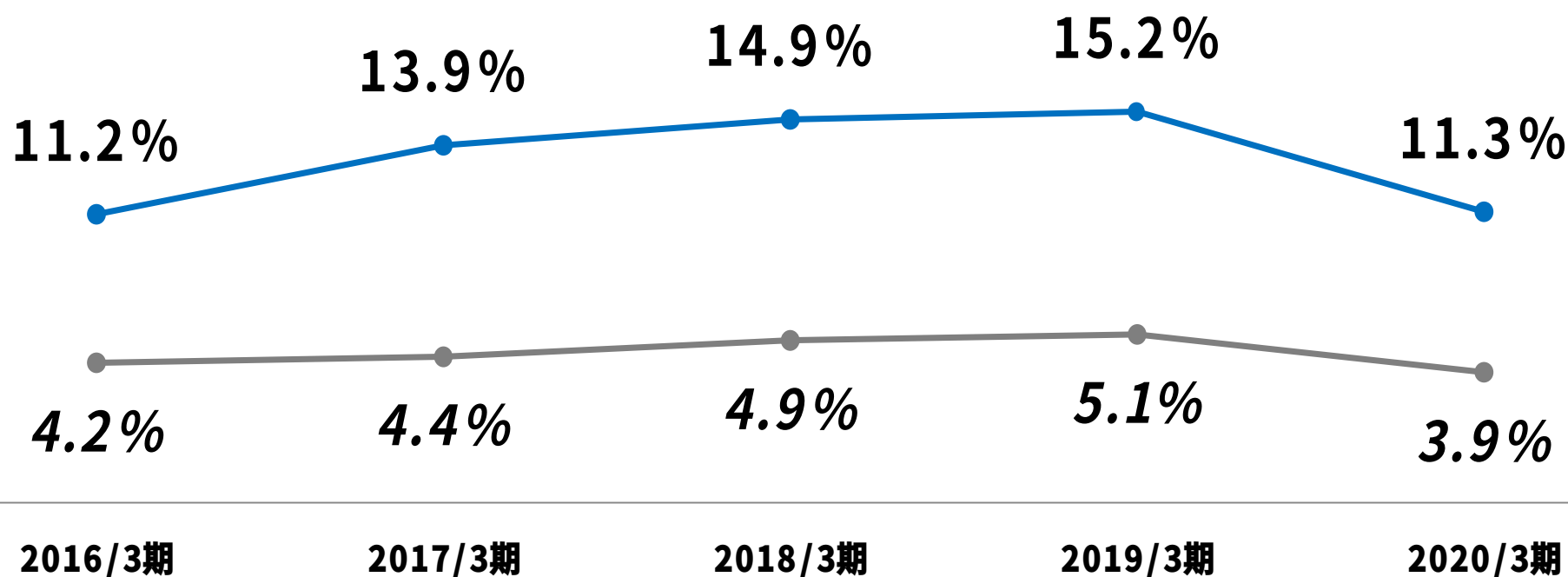
(単位：百万円)

■ 売上高
■ 半導体・FPD売上高
— 経常利益



(参考) ROE・純資産配当率の推移

● ROE ● 純資産配当率



ROE（自己資本利益率）＝ 当期純利益／期中平均自己資本

純資産配当率＝ 1株当たり配当金／期中平均1株当たり純資産（＝ ROE × 配当性向）

3. 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

- 経済活動の停滞により、当社の受注活動にマイナス懸念
鉄鋼分野や産業機械分野では受注先送りの兆候
半導体・FPD分野は足元影響なし
- 国内子会社は自動車生産停止の影響大
- 中国子会社の第1四半期（1-3月）は一時的に操業停止となるも4月以降はほぼ通常生産に回復
- 台湾、米国の子会社への影響は軽微

2021年3月期 連結業績予想



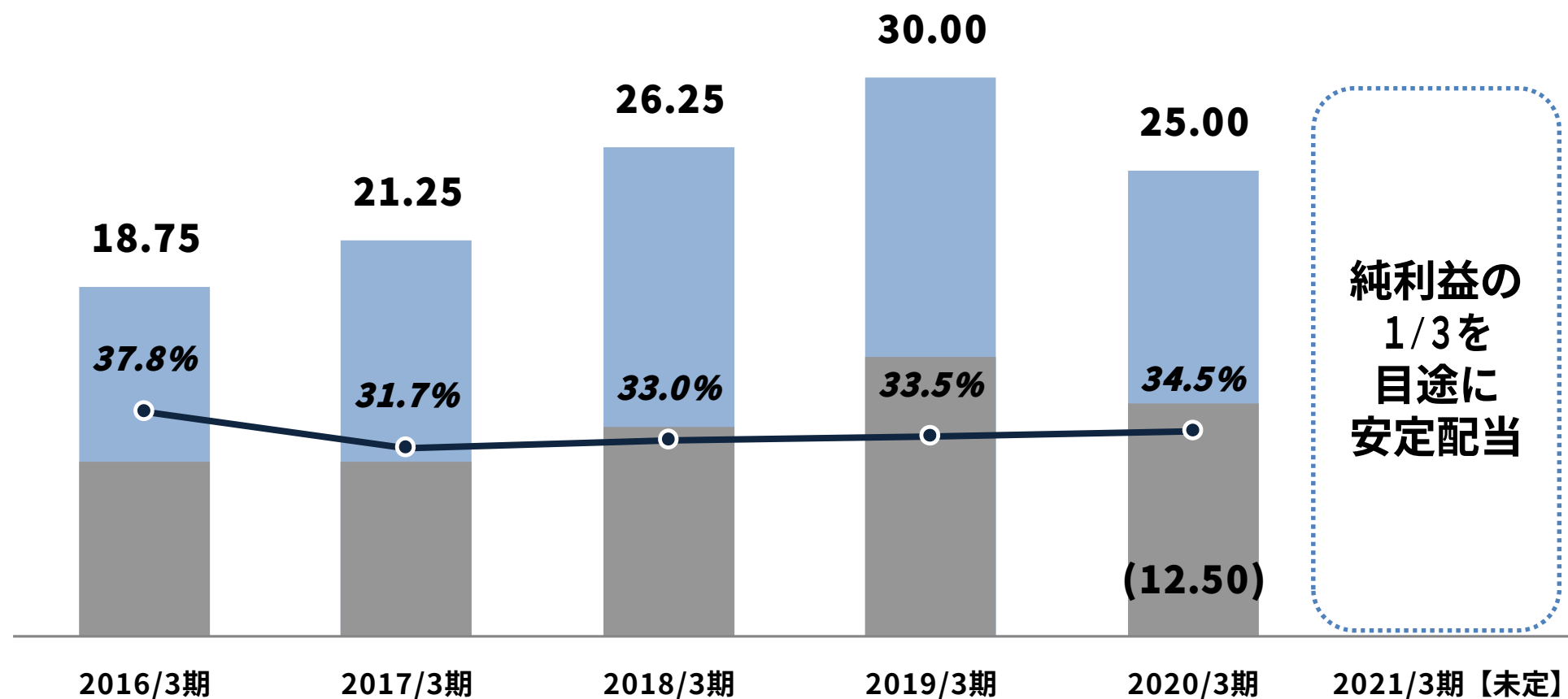
連結業績予想の公表見送り

- 合理的な業績予想の算定が困難なため、2021年3月期の連結業績予想の公表は見送り
- 合理的に算定可能となった時点で速やかに開示予定
- 2021年3月期の配当予想も未定、連結業績予想と同時に開示予定

なお、2020年3月期の期末配当は予定どおり12円50銭

1株当たり配当額・配当性向の推移

■ 1株当たり配当額 (円) ■ 1株当たり中間配当額(円) -●- 配当性向(連結)



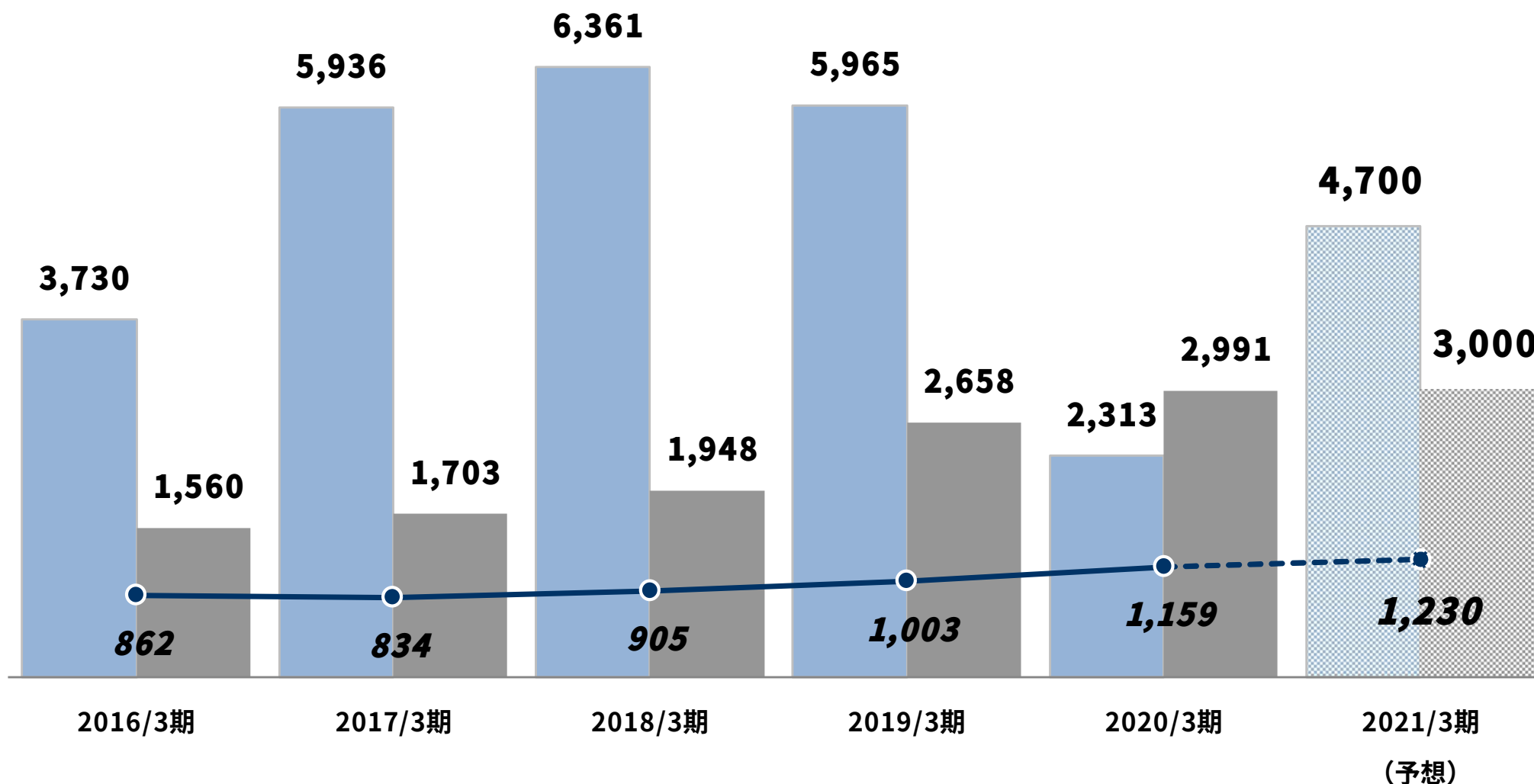
(注) 2016/3期～2017/3期の1株当たり配当額は、株式分割を考慮した数値に換算しております。

設備投資額・減価償却費・研究開発費



■設備投資額 ■減価償却費 -●-研究開発費

(百万円)



設備投資計画について

2021年3月期 設備投資予定額 47億円

トーカロ 35億円

- ・東京工場 新棟建設 10億円
- ・明石播磨工場 半導体関連設備の導入 5億円
- その他、次世代コーティング開発設備の導入など

国内子会社

- ・中部地区での新工場建設等 9億円



JCC／中部地区新工場
(2021年3月完成予定)

海外子会社

- ・半導体・FPD分野を中心に 3億円

4．持続的成長の実現に向けて

トーカロの成長戦略 II

新商品の開発 及び 新市場の創出

ターゲット市場の5本柱

- 1.半導体・FPD
- 2.新素材
高機能鉄鋼材料、
高機能フィルム、紙／不織布 etc.
- 3.エネルギー・環境
- 4.輸送機
高速鉄道、航空機 etc.
- 5.医療

継続成長のためのアクション

- ①収益源の多角化
 - ・ターゲット市場分野での
商品開発と既存市場の適用拡大
- ②半導体・FPD分野
 - ・市場回復に備えた生産能力の増強
 - ・次世代皮膜の技術開発
- ③グローバルな展開
 - ・メンテナンスビジネスの強化
 - ・現地化（子会社、関連会社）と
技術供与（ライセンスビジネス）

(参考) 経営指標ハイライト



(百万円)	2016/3期 実績	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 実績	2020/3期 実績
受注高	28,343	29,506	36,851	38,915	38,011
受注残高	3,440	3,983	6,725	6,081	6,195
売上高	28,746	28,963	34,109	39,558	37,896
営業利益	4,805	5,645	7,110	7,741	6,550
経常利益	5,027	5,801	7,363	8,076	6,812
経常利益率	17.5%	20.0%	21.6%	20.4%	18.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,015	4,070	4,836	5,441	4,404
1株当たり当期純利益 (EPS)	49.60	66.95	79.56	89.51	72.45
総資産	37,992	44,331	52,664	57,278	61,122
自己資本	27,778	30,647	34,174	37,559	40,263
自己資本比率	73.1%	69.1%	64.9%	65.6%	65.9%
自己資本利益率 (ROE)	11.2%	13.9%	14.9%	15.2%	11.3%
総資産経常利益率 (ROA)	13.5%	14.1%	15.2%	14.7%	11.5%

ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益/期中平均自己資本、ROA＝経常利益/期中平均総資産

当社は2018年3月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の株式分割を実施しており、2016/3期～2017/3期の1株当たり当期純利益(EPS)に関しては、当該株式分割を踏まえて換算しております。

本資料における将来に関する記述は、発表日現在、当社が入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後のさまざまな要因により、実際の業績等はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

トーカロ株式会社

経営企画室

TEL: 078-303-3433 (代)